

## 「子供たちの未来づくり」⑨

## — 失敗を恐れない②

— しっばいにかんぱい!



「しっばいにかんぱい!」という絵本がある。1年生からずっとリレーの選手に選ばれてきた加奈ちゃん。運動会の最後を飾るクラス別対抗リレーに6年生代表に選ばれて出場するが、まさかのバトンパスのミスで失格という大失敗をしてしまう。一晩たっても朝ご飯を食べられないほど落ち込んでしまった加奈ちゃんを、いとこ、おばあちゃん、おとうと、おばさん、そしておじさんが次々にさりげなく自分たちの様々な失敗の話をしてあげて、心を解きほぐしてくれるというストーリーである。

読みながら、年のせいもあるのか涙が出て止まらなかった。私の気持ちもほのほのとしたものになり、不思議なほどの安心感に満たされてくるのだった。こんな話を、もつともつと子供たちに伝えていければなあと思う。

今年3月に富島中学校で、2年生と地元高校生との「先輩から学ぶこと—高校生と語ろう」というパネルディスカッションが行われた。その冒頭で4人の高校生たちが自己紹介がてら、これまでの失敗談を話した。みなとても率直に恥ずかしがらずに自分の失敗談を語ってくれた。一番驚いたのは、何と3人が、高校受験

に失敗したと話したのである。あ  
る人は、看護科のある学校に行きたかったが、中学時代の勉強不足で行けなかった。しかし、その後高校でたくさん  
の経験をす  
る中で看護師への夢が本物になつてきて今はその道に向か  
て頑張っていると言った。

ある人は、第一希望には勉強が足りなくて行けず、第二希望の学校を選んだ。でも自分は常にプラス志向なので失敗してもすぐに新しい目標を立てて盛り返していきける。高校では熱心な先生や仲間  
に助けられて、いろいろな経験をすることができて、志望の大学に合格できたことを話してくれた。

中学生の感想文には「中学時代  
大切な事はしっかり勉強することだ  
と思つた」「失敗はチャンスだ」「高  
校生たちは堂々としてカッコよかつた。自分もあんな風になりたい」と  
いった言葉が書き連ねられていた。

文/日向市キャリア教育支援センター長

水永 正憲